

文 4地区センターで地区センター祭りを開催 化の秋をみんなで楽しむ



1 部屋いっぱいの作品 2 名人から折り方を教わる 3 輪投げで高得点を狙う 4 子どもに大人気のお菓子づくり 5 自分の作品と記念撮影 6 大迫力の書道作品 7 小笠高校吹奏楽部の演奏に会場は大盛り上がり 8 なかなか減らず苦戦するラムネ早飲み

11月2・3日に小笠南地区で、13・14日に平川地区で、14日に六郷と横地地区で、毎年恒例の地区センターまつりが開催され、地域の子どもからお年寄りまで大勢の住民が足を運びました。

小笠南地区では、展示部門を中心に実施。地域住民の絵画や手芸、工作など300点以上の作品が集まりました(写真1・4)。平川地区では書道パフォーマンスの作品が展示されたほか、折り紙教室も行われました(写真2・6)。六郷地区では、屋外に輪投げなどのゲームコーナーが設置され、来場者を楽しませました(写真3・5)。横地地区では、作品展示や地場産品の販売のほか、ステージ発表が行われ、小笠高校吹奏楽部が演奏を披露。会場から大きな拍手が送られました(写真7・8)。

健 明治安田生命保険相互会社との協定締結式 健康づくりやがん対策で連携

11月12日、プラザきくるで明治安田生命保険相互会社との「健康増進に関する連携協定」締結式が行われました。長谷川寛彦市長と同社の片倉浩彰浜松支社長が協定書に調印し、健康づくりやがん対策、感染症対策などについて連携する協定を結びました。

同社とは、今年夏に市職員向けの健康測定会を実施したこともあり、今後は共創の理念のもと市民サービスの向上や地域の活性化のため、健康イベントなどでの講師派遣や健康器具の貸し出し、がん検診や健康マイレージ事業などのPR協力などで連携を図ります。



▲協定書を手にする長谷川市長と片倉浜松支社長(右)

子 「みんなのアソビバ」&「小さな収穫祭」 子どもたちの声で賑わう広場

11月3日、「みんなのアソビバ&小さな収穫祭」が、常葉大学附属菊川高校と県立小笠高校の生徒たちのコラボレーションにより開催されました。アートをモチーフにした10種類の体験コーナーや、学校で育てた珍しい野菜の販売などが行われ、市民などおよそ600人が訪れました。また、今回のコラボ企画を記念して、小笠高校と社会福祉法人草笛の会が、生徒手作りのトマトソースを練り込んで作ったパンを販売したほか、常葉大菊川高校の生徒がデザインしたオリジナル缶バッジをプレゼントするスタンプラリーも実施されました。



1 生徒手作りのゲームで遊ぶ 2 大好評のきくのみん抽選会